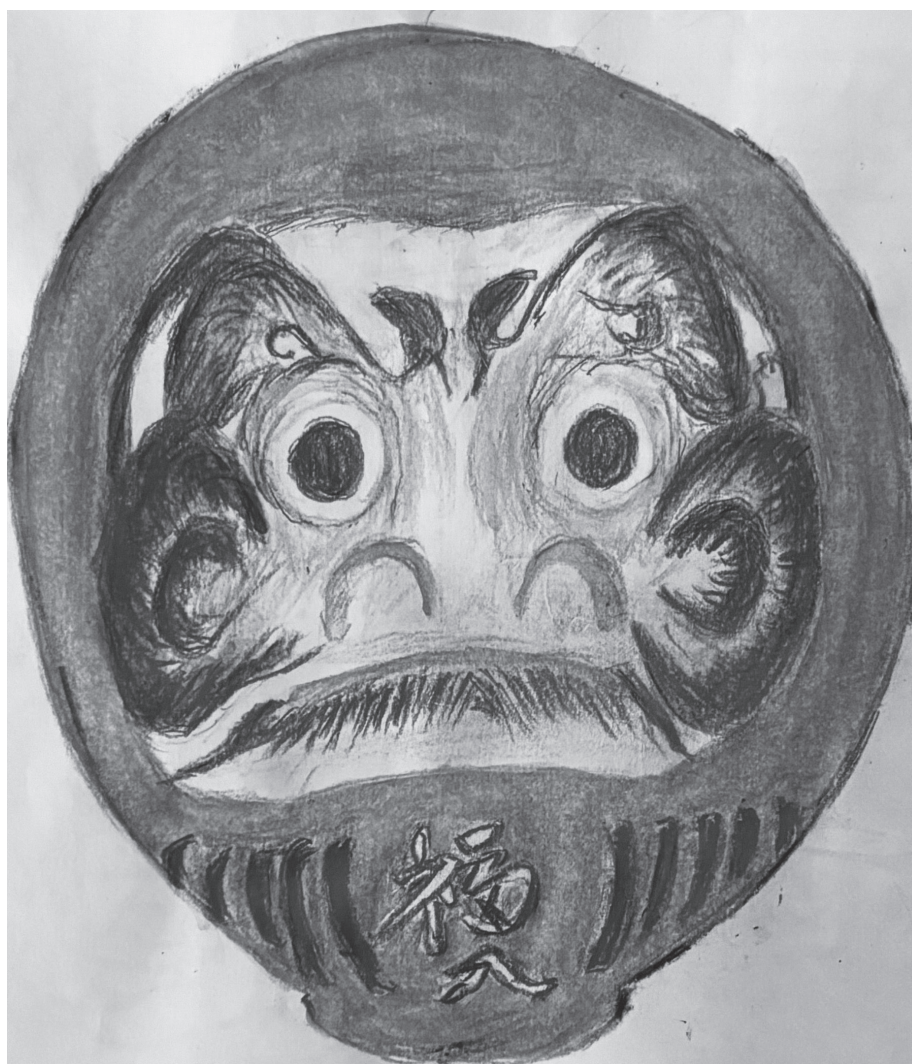




Contents

- 特集記事 2~4
 - 第27回群馬県作業療法学会に向けて
 - リレー・フォー・ライフに参加しませんか
 - 第26回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 群馬2025 参加報告
- お知らせ 5
- 議事録 6~13
- エッセイ 14~15
- 事務局からのお知らせ／編集後記 16

特集1

第27回群馬県作業療法学会に向けて

前橋医療福祉専門学校 作業療法学科 小林 芳行

第27回群馬県作業療法学会の学会長のお話をいただいた際、「今、私自身が感じていることを形にしたい」と思い、会場を前橋医療福祉専門学校で開催することを決めました。

私が生まれた頃は、「明治100年」という言葉が世間を騒がしていましたが、今年は「昭和100年」や「戦後80年」、さらに、昭和40年に制定された「理学療法士及び作業療法士法」も60年を迎えるなど、複数の節目の年です。本校も25年というアニバーサリーイヤーとなっております。

先人たちの熱意が作業療法士という仕事を形にしました。現在では10万人を超える人材が様々な分野で活躍するまでに成長を遂げています。特に、2000年以降、回復期リハビリテーション病棟の開設をはじめとし、リハビリ関連職種の必要性がとても大きく報じられるようになりました。私自身、養成校の教員として20年が経過しました。今感じることは、私ができなかったことを卒業生たちが私の代わりに叶えてくれたという思いです。

今回の群馬県作業療法学会では、これからの作業療法を考える機会として、学会テーマを「作業療法の未来に向けて～作業療法の楽しさをつなぐ～」としました。日本作業療法士協会の会長であります山本伸一先生をお迎えし、作業療法の魅力を群馬の地で伝えていただきたいと思います。皆さんのお力で、第27回群馬県作業療法学会を盛り上げていただきたいと思います。今、皆さんの情熱が必要です。ご協力よろしくお願いいたします。

特集2

リレー・フォー・ライフ(RFL)に参加しませんか？

RFLとは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティ活動です。昨年度のRFLでは群馬県理学療法士協会含め、多くの職能団体、病院や企業が参加しています。会場ではチームの仲間と、チームフラッグを掲げ歩きます。



今年度は群馬県作業療法士会もRFLのリレーイベントに参加します。

リレーイベントでは、参加者は交代で歩きます。

そのため、群馬県作業療法士会の皆様も参加できる時間帯に参加してみませんか？

「チャリティを通じてがん患者さんやご家族への支援に貢献したい」

「県内の作業療法士との関わりを持ちたい」

「屋外を歩く運動機会を持ち気分転換を図りたい」

「様々な企業の催し物を楽しみたい」

日中は様々な団体がチャリティーイベントを行っており、家族と一緒に参加しても非常に楽しいです。

また、日頃の運動不足な方でも少ない時間帯(1時間でも参加可能です)で参加できるので安心してください。

日 時:2025年 10月11日(土)14:00～10月12日(日)10:00
会 場:ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド
(群馬県前橋市関根町800)

Google Formから事前登録していただくと、
会場における傷害保険の対象となりますので、
登録お願い致します。皆様のご参加よろしくお願いします

当日参加も可能です。
会場内の群馬県作業療法士会の
テントまでお越し下さい。

登録先はこちら
期限:10月3日(金)まで



去年参加された近藤真知子さんの感想です

群馬県作業療法士会 福利厚生部を中心とした、リレーフォーライフへ
一般会員として参加をしてきました!

リレーイベントは、ただ歩くだけでは苦痛ですが、この会場では歩いた周数に応じて景品がもらえたり、チャリティーで物品販売やスーパーボールすくいができたりと、ついつい歩きたくなるような仕掛けが沢山ありました。

ステージではG-FIVEショーやコーラス、ギター演奏などが行われており、休憩がてら芝生に座って鑑賞することもできました。

トラックの真ん中にはキッズコーナーもあり、広い芝生の上でプラレールを広げてあそぶことができます。

会場内のブースには、がん細胞を顕微鏡で観察したり、エピテーゼの本物を触れて見る
ことができるブースもあり、がんについてより理解を深めることができました。風船や
お菓子も用意されていたため、子供連れでもじっくり見学できたこともまた非常にうれしかったです。会場全体が緑日のようにワイワイしているので、親子で参加している方も多くいらっしゃいました。

学会や研修会がオンラインになったことで、顔を合わせる機会が減り、効率化に繋がった一方で、対面でのメリットが得られなくなったと多くの会員の方が感じておられるのではないかと思います。このような機会に、他施設の作業療法士の方々と交流できた事は、私にとって大変良い経験でした。次回も、参加したいと思っています。



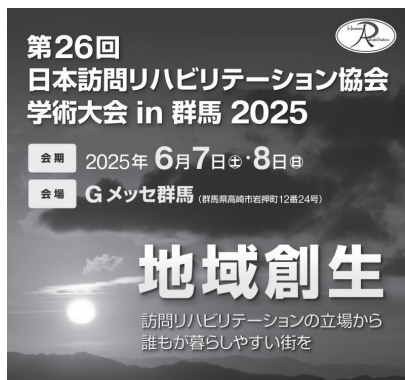
気になりましたら、気軽に以下のメールに
お問い合わせください。

問い合わせ先:篠塚病院 設楽俊史
アドレス:toshifumi.amuse@gmail.com

特集3

第26回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会 in 群馬 2025 参加報告

エムダブルエス日高 都丸 直樹



2025年6月7・8日 Gメッセ群馬を会場に「第26回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会 in 群馬 2025」が開催されました。全国各地から訪問リハビリテーションや地域リハビリテーションに係る様々な講演や発表がありました。

今大会は、新谷大会長（群馬県理学療法士協会）、田村実行委員長（群馬県理学療法士協会）、小此木事務局長（群馬県作業療法士会）を中心に、群馬県理学療法士協会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡協議会が共催として開催されました。そして群馬県内のPT・OT・STがまさに“協同”して作り上げた大会となりました。参加者は2日間で683名と全国から多くの参加があり、PT・OT・STのみならず多職種皆さんの参加も目立ちました。また、群馬県内のPT・OT・ST養成校の学生皆さんも多数ご協力を頂き、現役療法士と学生さんの交流の場ともなりました。

大会テーマである“地域創生～訪問リハビリテーションの立場から誰もが暮らしやすい街を～”に関する幅広い分野の講演、発表が印象的でした。私たちが活動する基盤となる介護保険の最新情報や、地域リハで活躍する最前線の医師や療法士の活動内容、民間企業様の地域づくりに取り組む様々な活動を知り、さらに意見交換もできる“参加型の学術大会”でした。

口述発表やポスター発表からも、皆さんの「訪問リハ・地域リハへの熱い思い」が伝わってくる大会でした。私自身、介護保険分野に携わっていますが、医療分野、介護分野、福祉分野、そして地域活動、全てが“地域リハビリテーション”なんだと改めて感じ、ひとりの対象者を様々な関りで応援する「地域リハってやっぱりおもしろい」と強く思いました。

来年の大会は北海道で開催、今から楽しみです。



こころのふれあい・フェスタ 開催のお知らせ

2019年より休止していた「こころのふれあいバザー展」を「こころのふれあい・フェスタ」と名称を変えて再開します。

こころのふれあい・フェスタは「こころの健康」について考える場として県内精神科病院や事業所が集まるイベントです。

9/6(土)10:30～15:30 群馬県庁1階ホールで開催致します。作業療法士会として、県士会ブースを設けてうちわ作り&スタンプラリーを実施予定です。

うちわ作りで使用する材料やスタンプラリーの景品を提供してくれる方は当日、県士会ブースまで持ってきていただくと幸いです。

よろしくお願い致します。

上毛病院 作業療法士 高橋



地域作業療法推進部精神科領域推進グループが
SNSを開設しました ✨



@GAOT_SEISHIN_GROUP



Instagram

研修会情報、活動報告を発信しています！
ぜひフォローして頂きご活用ください ✨

X(旧Twitter)

群馬県作業療法士会 2024年度 第6回理事会 議事録

日 時：2025年3月26日(水)19:00～21:00

会 場：Zoomによるオンライン開催

参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、小林、柴田、高橋、都丸、長谷川、吉岡、李 (50音)

【各部報告・審議事項】

1. 新井会長

- 1) 第9回北関東信越ブロック学会の日程決定
第9回北関東信越ブロック学会・第40回長野県作業療法学会大会が、長野市 若里市民文化ホールを会場に、2025年7月19-20日の日程で開催されることが決定した。
- 2) 都道府県作業療法士会「倫理問題担当窓口」の見直しに関する意見交換会への出席
2025年3月1日に都道府県作業療法士会「倫理問題担当窓口」の見直しに関する意見交換会が開催され、新井会長、長谷川事務局長、石森副事務局長が参加した。
- 3) 2024年度第4回協会長・都道府県士会会長会議(よんぱち)への出席
2025年3月2日に第4回協会長・都道府県士会会長会議(よんぱち)が開催され、新井会長が参加し、山口副会長がオブザーバー参加した。
- 4) 群馬パース大学卒業証書・学位記授与式への参列
2025年3月7日に群馬音楽センターで執り行われた、群馬パース大学卒業証書・学位記授与式に新井会長が参列した。
- 5) 群馬県地域リハビリテーション協議会への出席
2025年3月12日に開催された第27回群馬県地域リハビリテーション協議会に新井会長が出席した。

2. 教育部

【担当：勝野・今村／報告者：教育部部長・今井卓也】

【報告事項】

ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

2/18、3/13にリモート会議を実施。

1) 令和6年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

①現職者研修

現職者共通研修 「職業倫理」

日時：2025/1/22 講師：長谷川事務局長

上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者共通研修 「日本と世界の作業療法の動向」

日時：2025/2/26 講師：新井会長

上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者選択研修 「精神障害領域」

日時：2025/2/9 開催方法：オンライン研修

講師：米原OTR(上之原)、鈴木OTR(群馬医療)、

滝沢OTR(郡大病院)、大嶋OTR(ふくる)

上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

②基礎ポイント研修 なし

2) 令和7年度 新人症例発表会

日時：令和7年7月20日

会場：群馬医療福祉大学(対面開催)

統括：須田ブロック長(館林厚生病院)、金高OTR(療育センターきぼう)

各ブロック担当：北中毛→前橋日赤病院(矢吹OTR)

西毛→群馬整肢療護園(吉田ブロック長)

東毛→館林厚生病院(須田ブロック長、糸井OTR)

発表者：46名(査読希望者1名)

上記内容で研修会を開催予定。

3) その他

①次年度の研修について

現職者共通研修8コマ、現職者選択研修(発達)、基礎ポイント研修2コマの企画を予定する。

②新生涯教育制度について

令和7年度からOT協会の新生涯教育制度が開始予定。

まだ未確定のことも多いため、詳細が分かり次第、必要な準備をすすめる。

③Peatixについて

令和7年度のオーナー・サブオーナーを下記へ決定。変更準備をすすめる。

・オーナー：黒田・今井

・サブオーナー：山ノ内ブロック長・須田ブロック長

④県士会裁量ポイントについて

粕川研修企画G長が戸部SG長へ教育部の名簿を提出する。

⑤令和7年度の名簿について

各ブロック長は令和7年度の名簿を4月末までに粕川研修企画G長へ提出する。

【審議事項】 なし

3. 広報部 [担当：都丸 部長 土岐]

【報告事項】

1) 公益事業グループ(グループ長：中澤)

来年度に向けての広報活動について部会を開催予定。ノベルティグッズはボールペンを発注済み。来年度の広報活動にて配布予定。

2) ニュース編集グループ(グループ長：大脇)

①1月号の発行が終了し、次回4月号の発行準備中。

②記事の掲載依頼等ありましたら下記アドレスにお願いいたします。

送付先：介護老人保健施設うらく ニュース編集G 長 大脇 daxiezongya@gmail.com

3) 広報企画グループ(グループ長：金子)

公益事業G と合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

【審議事項】 なし

4. 学術部 [担当：李・吉岡 部長：近藤]

【報告事項】

1) 学術研究グループ(佐藤グループ長)

①学術研究グループの勉強会を9名の参加者に対し、こ

れまでに6回実施した。

②全国OT学会(高松)の演題登録に向けた支援を2名の参加者に対し行った。

2) 学会支援グループ(秋山グループ長)

①次期学会の講師依頼の公文書作成、広報用SNSアカウントの運用等について支援を実施した。

3) 機関誌編集グループ(柳井グループ長)

①機関紙「ぐんま作業療法研究」投稿論文の締め切りを2月末日から5月末日に延長した。

②機関紙「ぐんま作業療法研究」の投稿規定/執筆要領の改訂原案は理事会の承認を受け、改訂について学術部内にて確認作業を実施している。

【審議事項】

①「群馬県作業療法学会開催規定の一部改正」について
群馬県作業療法学会開催規程を改正することを審議したい。

群馬県作業療法学会開催規定

(目的)

第1条 本規程は、群馬県作業療法学会について定める。

(名称及び実施方法)

第2条 群馬県作業療法学会会は、「第〇回群馬県作業療法学会」と称する。

1. 群馬県作業療法学会は、年1回開催することとし、日程は原則として9月第一週の土曜もしくは日曜の1日間、または連続する土曜、日曜の2日間とする。
2. 学会長ならびに実行委員会が任意の期間において学会開催する場合、学術部としては原則、学会誌印刷のみを行うものとし、運営にかかわる実務は学会実行委員が担うものとする。
3. 開催は中央北毛ブロック、西毛ブロック、東毛ブロックの順で担当し、原則として担当ブロック域内で開催する。
4. 学会長の決定は、開催担当ブロックで選定した後に学会長の了承を得た上で理事会にて決定する。
5. 学会は、一般演題、講演、ワークショップ、シンポジウム、機器展示、その他を学会長が必要に応じて構成する。

(学会実施のための委員会)

第3条 群馬県作業療法学会を実施するため、学会長は実行委員会を設置する。実行委員会は当該の大会が終了し、必要な残務処理が終了するまで存続する。

1. 実行委員会には委員長を置く。
2. 実行委員会は、当該学会実施の責任を負う。
3. 学会長もしくは実行委員長は学会担当理事ならびに学術部学会支援グループと連携を取り、円滑な業務の推進を図る。
4. 学会長もしくは実行委員長は学会の開催に関する事項を理事会に報告する。

(開催費用)

第4条 学会開催のため、必要に応じ、学会実行委員会に学会予算に従い仮払いする。

2. 学会実行委員会は、学会開催後、学術部学会支援グループと連携し、学会報告書を作成し、理事会に提出する。仮払金は精算の上、残金全額および余剰金があれば余剰金全額を戻入する。

(学会誌)

第5条 学会プログラム、演題抄録、演題抄録などを掲載した学会誌を作成する。

(演題受付)

第6条 学会における一般演題発表者は群馬県作業療法士会の正会員ならびに賛助会員、または日本作業療法士会の正会員に限る。該当しない者は、演者(筆頭)としての応募資格はないが、演者(共同)としての応募は可能である。ただし、群馬県作業療法学会学会長および実行委員会の承認が得られる場合は、演者(筆頭)として応募可能である。

(著作権)

第7条 学会誌掲載の各論文等の著作権は、群馬県作業療法士会に帰属する。

(参加費・謝礼金)

第8条 学会の参加費の詳細については、別途、大会開催マニュアルに定める。

2. 各講演に関して、講師には群馬県作業療法士会支配基準に準じて支払いを行う。詳細については、別途、大会開催マニュアルにて定める。

(その他)

第9条 大会開催の詳細については、別途、大会開催マニュアルにて定める。

(規程の改廃)

第10条 本規程の改廃は理事会の議による。

附則

1. この規程は平成25年4月1日より施行する。
2. この規程は令和6年1月31日に一部改正、同日より施行する。

審議結果: 群馬県作業療法学会開催規程を改正することが承認された。

5. 運転と作業療法特設委員会 [担当: 李]

【報告事項】 なし

【審議事項】 なし

6. 福祉用具委員会 [担当: 石森]

【報告事項】

- 1) 福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況
令和7年3月21日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は76件、相談件数は3件。生活行為工夫情報事業は2件であった。引き続き事業内容について周知していく。
- 2) 福祉用具関連の研修依頼への対応について
①令和7年2月7日群馬県介護支援専門員協会と合同研修を開催した。講師は美原記念病院 石森卓矢。参加人数は、介護支援専門員・主任介護支援専門員が17名、作業療法士が10名、福祉用具専門相談員2名で合計29名であった。
②令和7年3月6日に西毛ブロックを対象に福祉用具についての研修会を開催した。講師は美原記念病院石森卓矢。参加人数は作業療法士41名であった。

3) 令和6年度 福祉用具相談支援システム運用事業合同業務連絡会について

日本作業療法士協会生活環境支援室の会議が3月15日に開催され、石森卓矢、一場弘行が参加した。

【審議事項】 なし

7. 養成校連絡協議会 [担当:高坂、小林、木村]

【報告事項】

1) 第3回養成校連絡協議会会議を実施した。

- ①活動報告、決算、事業計画、予算について検討した。
- ②次年度も学生事業アンケート継続。調査結果のフィードバックは検討継続する。
- ③新年度学生会員の募集や管理について確認
- ④学生交流会の実施検討
- ⑤2025年度臨床実習指導者講習会開催予定(太田医療技術専門学校)

【審議事項】 なし

8. 地域局 [担当:柴田・今村・小此木・山浦]

【報告事項】

1) 北中毛ブロック支部

- ①二次医療圏渋川地域の担当者が家庭の事情により辞退する。現在、次の担当者を選定中。適任者がいた際は紹介がほしい。
- ②前橋市地域リハビリテーション協議会に木村理事が参加した。

2) 東毛ブロック支部

- ①2月25日 主任者会議実施 7施設7名。
- ②太田市宝泉介護予防教室への講師派遣手配を行った。
- ③伊勢崎市介護認定審査委員の斡旋を行った。

3) 西毛ブロック支部

- ①2月6日に地域包括ケアフェスティバルin高崎の振り返り会議に山浦が参加。現段階では次年度も開催予定で、参加団体予定として作業療法士会は含まれている。
- ②3月6日に石森卓矢氏を講師として、作業療法士に対する福祉用具の研修会をオンラインにて開催した。参加者は41名であった。

4) 全体 なし

【審議事項】 なし

9. 福利厚生部 [担当:小此木、部長 設楽]

【報告事項】

1) 優秀学生賞

各養成校の教員の皆様の協力もあり、今年度もパース大学を含む5校に対して実施、または実施予定となっている。今後の表彰状作成は外注となる予定。

【審議事項】 なし

10. 訪問リハビリテーション学術大会in群馬

[担当:小此木]

【報告事項】

事前参加登録が開始された。

徐々に企業展示やランチョンセミナーなど集まってきたが、まだ少ない。

4月3日に全体の実行委員会があり情報共有予定。

当日の運営も人数が足りないためこれから募集をかけていく。引き続き、企業様など知っている方がいたら連絡がほしい。

【審議事項】 なし

11. 地域作業療法推進部 [担当:高坂、吉岡]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ(山口グループ長)

- ①2月13日、3月13日 地域包括ケア推進グループ定例会議を開催した。
- ②2月18日 広報部との連携会議を実施した。山口、笹谷が参加した。
- ③3月9日 第3回地域支援事業会議が行われ、選任者として高坂理事、山口、聴講者として山浦理事、今村理事が参加した。
- ④3月15日 介護予防に資する指導者人材育成研修を開催した。参加者は12名であった。会場は群馬医療福祉大学をお借りし対面形式で行った。
- ⑤3月17日 地域局と合同会議が開催され、高坂理事、山浦理事、山口、笹谷が参加した。
- ⑥3月18日 関東信越ブロック会議が開催され、高坂理事、山口が参加した。
- ⑦次年度、広報部と連携し、OT啓発活動を推進していく方向で検討している。

2) 認知症支援推進グループ(笹谷グループ長)

- ①2月8日 第2回認知症ケア資質向上の為の研修会を実施した。参加者は38名であった。
- ②3月7日 開催予定の座談会は参加者なしのため中止となった。
- ③3月7日付で県へ清算書類を郵送・メールで提出した。
- ④1月26日・2月23日 「認知症のひとと家族の会」のつどいに笹谷グループ長が参加した。

3) 精神科領域推進グループ(米原グループ長)

- ①1月25日 「精神科作業療法における作業に根差した実践とその工夫」をオンライン開催し、申込者33名(県内14名)、当日参加者31名であった。
- ②3月1日 「精神×発達 作業療法士のコラボレーション座談会」を対面開催し、参加者26名(精神8名、発達12名、学生6名)であった。
- ③3月15日 日本作業療法士協会主催「精神科領域における現状と課題/実践に関する意見交換会」にグループ員が参加した。
- ④精神障害領域の施設に所属する県士会員対象に職能団体の入退会に関するアンケート調査を実施する。
- ⑤SNSの投稿を継続的に行っている。SNSフォロワー数は増加している。(Instagramフォロワー116 Xフォロワー20)

4) 発達支援推進グループ(小田グループ長)

- ①1月31日 研修企画委員会を行った。次年度の研修企画について検討した。
- ②2月1日 関東小児OT交流会(千葉県作業療法士会主催)が開催された。当士会から選任者として小田(現地)、吉岡理事・六本木氏・中嶋氏(zoom)が参加した。来年度群馬県士会を主催として、交流会を実施していく予定となった。

③2月9日 幹部会議を実施した。来年度の事業計画、予算案について検討した。予算案原案、役割分担等について検討、予算案原案の決定、役割分担については、内諾を得られるように打診していく事が決まった。

④来年度新規事業として、①5歳児健診の情報収集と体制づくり②学童保育の支援事業（仮称）（高崎市で助成金が出る予定との事）の体制づくりと支援の実施を予定する。

⑤2月21日 「小児科医と作業療法士が連携して支える発達特性のある子どもの成長と課題～地域で子どもの未来を育む支援とは～」を開催（対面とZoom開催）した。参加者は88名（部員17名、県士会員21名、他OT県士会員20名、群馬県内OT学生17名、群馬県内PT、ST13名）であった。事業収入は¥77,181となった。

⑥3月1日「精神×発達 作業療法士のコラボレーション座談会」を対面開催し、参加者26名（精神8名、発達12名、学生6名）となった。

⑦3月17日 研修企画委員会を実施し、来年度の研修会の企画運営について話し合う予定である。

【審議事項】

1) 地域包括ケア推進グループ

①前橋市地域ケア個別会議の傍聴案内の掲載について（別紙参照）

前橋地域リハビリテーション広域支援センターより、前橋勤務の作業療法士向けに自立支援型地域ケア個別会議の傍聴の案内があった。県士会HPやFacebook等で案内してもよい。

審議結果：県士会HPやFacebook等で案内することについて承認された。

2) 発達支援推進グループ

①外部専門家派遣事業の同伴者への謝金について審議をお願いしたい。

外部派遣事業では、派遣者には謝金が発生しているが、同伴者には謝金等は規定されていない。新規の派遣者を増やしていく為に同伴者への謝金の検討をお願いしたい。

〈案〉群馬県作業療法士会講師謝金支払い基準の助手（半日扱い）4,000円＋交通費

審議結果：上記案で承認された。

12. 事務局 [担当:長谷川・石森]

【報告事項】

1) 群馬県作業療法士会創立40周年記念式典実行委員発足に関する会議報告

①名称：『群馬県作業療法士会創立40周年記念式典』を正式名称とする。

以降、文書等はすべてこの表記に統一する

②組織化：実行委員会組織化について

結果：2025年3月の理事会で実行委員会を県士会特設委員会として設置することを審議

③開催時期：2026年6月総会と合同開催を軸に予定を調整する

④開催規模・内容

・特別講演の実施あり

・祝賀会の開催あり

・記念誌の作成は50年式典に合わせる方向で、今回は見送り

・代理店との提携については検討を開始する

・およその予算としては100～150万円ほど

2) 総会及び令和7年役員改選選挙について

①立候補並びに推薦受付期間

令和7年4月14日(月)～5月19日(月)(当日消印有効)

所定の期日までに立候補の届け出の処理等をお願いいたします

3) 事務局員加藤さんの退職について

加藤さんより、2026年3月末で退職希望あり。

2026年度については、新たに事務局を雇用する。

求人については、事務局にてHPに求人募集など対応していく。

【審議事項】

1) 選挙管理委員会委員長の退任及び後任の人事について

現) 選挙管理委員長：上毛病院の星野様

以前から、退任の意向あり。

後任) 群馬大学医学部附属病院 須藤愛実氏

内諾あり

審議結果：選挙管理委員長の人事について上記内容で承認された。

2) 特設委員会 群馬県作業療法士会創立40周年記念式典実行員会の設置について

40周年記念式典実行委員会を県士会特設委員会として設置する。

審議結果：2026年度末までの期限付き特設委員会として設置することが承認された。

3) 総会の日時・会場等

①会場・日時について

日時：令和7年6月22日(日)午後

開始時間：15:10～16:00

会場：公益財団法人脳血管研究所 てんぼくホール

〒372-0048 群馬県伊勢崎市大手町1-1

②第26回群馬県作業療法学会特別講演代替講演について

演者：平石武士様

開催時間：13:30～15:00

審議結果：上記内容にて総会の開催準備を行っていくことで承認された。

4) 会費減免事業の継続について

会費減免事業を来年度以降も継続して良いか検討したい。

審議結果：会費減免事業を来年度以降も継続することが承認された。

13. 財務部 [担当:高橋・小林]

【報告事項】

1) 来年度予算案について

2) 決算・出納帳・支払について

4月5日が締め切りとなっており、期限厳守でお願いしたい。

3) その他

日本作業療法士協会非会員となっている群馬県作業療法士会員へ日本作業療法士協会へ再入会するよう促していく。

【審議事項】 なし

14. 第27回群馬県作業療法学会 [担当:木村]

【報告事項】

- 1) 第1回実行委員会を実施し、情報共有と協力依頼を行った。
- 2) 基調講演依頼の書類発送完了、一般演題募集の書類作成中。
- 3) 前回の検討事項として挙げた参加費は以下の通り
(協会員、県士会員:1000円 非会員、他職種:2000円
実行委員、一般、学生無料)
- 4) 参加者の非会員と一般との線引きについて、例年通り、本人からの自己申告とする。
- 5) 参加費の徴収方法について、参加申込フォーム入力後に学会の銀行口座を提示し、そこに入金依頼。振込確認ができ次第、ZoomIDとパスワードを申込時に入力してもらったメールアドレスへ発送。(OT学会と同様)

【審議事項】

- 1) 参加費徴収のために、現在持っている学会専用の銀行口座情報の提示をしても良いか。

審議結果:学会専用の銀行口座情報を提示することが承認された。

その他連絡事項:

- 1) 群馬県の認知症に係る県民向け講座教材開発・作成事業が検査を通過し、50万円が振り込まれた。別紙のとおり、認知症に係る県民向け講座教材開発・作成事業で納品し受理された。今後、県のホームページ等で公表される予定。

次回理事会予定 未定

群馬県作業療法士会 2025年度 第1回理事会 議事録

日 時: 2025年5月26日(月)19:00~20:30

会 場: Zoomによるオンライン開催

参加者: 新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、関根、高橋、都丸、長谷川、山浦、山口、吉岡、李 (50音)

【各部報告・審議事項】

1. 新井会長

【報告事項】

1) 役員改選について

関根副会長、高橋理事が今期で退任となる。長年にわたる県士会への多大な貢献に改めて深く感謝申し上げる。他理事については再任立候補の判断を頂いたことに感謝する。また、次期副会長に勝野理事に立候補いただき、新たな理事候補者として4名の方に立候補していただいた。立候補者数19名と、定款に定める理事定数内の立候補者状況である。監事も、現監事に再任立候補していただき、定数(2名)内の立候補状況となっている。

2) 太田医療科学大学(仮称)について

5月13日、2026年度に太田市に開学される太田医療科学大学の学長(就任予定者)の訪問を受けた。大学の教育方針や教育体制に対する説明を受け、群馬県作業療法士会への協力や連携に対する方針等についても積極的な意見交換を行い、群馬県における作業療法士養成教育をより良いものとするために互いに協力しあっていくことで合意した。

3) 日本作業療法士協会定時社員総会等への出席について

5月31日、東京都で開催される一般社団法人日本作業療法士協会2025年度定時社員総会に社員(代議員)として出席予定。

6月7日~8日、高崎市で開催される第26回日本訪問リハビリテーション学術大会in群馬に副大会長として参加予定。

6月28日、2025年度第1回協会長・都道府県士会長会議に出席予定。

【審議事項】

1) 名誉会員推薦の件について

松房利憲氏(前群馬県作業療法士会会長)、小林夏子氏(元群馬県作業療法士会会長)の両名を、当会定款第7条3項の規定に基づき、名誉会員として理事会推薦を行ないたいの審議いただきたい。

審議結果:当理事会として、両名を、定款第7条3項の規定に規定される当法人に顕著な功労があった者と認定し、名誉会員として推薦することを決議する。両名の承諾を得た後、直近の社員総会にて提議し承認を得ることとする。

2. 教育部

[担当:勝野・今村/報告者:教育部部長・今井卓也]

【報告事項】

ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

4/23、5/14にリモート会議を実施。

1) 令和7年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

①現職者共通研修

現職者共通研修 「作業療法生涯教育概論」

日時:未定(6月末~7月上旬を検討)

講師:松本OTR(沼田脳外)

上記内容で研修会準備を進めている。

その他の現職者共通研修も今年度の講師から内諾を受けており、今後準備を進めていく。

現職者共通研修 「事例検討」

日時:令和7年7月20日

会場:群馬医療福祉大学(対面開催)

新人症例発表会との合同開催。上記内容で研修会準備を進めている。

②現職者選択研修

現職者選択研修 「発達障害領域」

日時:未定 開催方法:オンライン研修

講師：未定

現在、講師選定・日程調整中。

③基礎ポイント研修

・「未定(3Dプリンター関連)」

日時：未定(8月を検討) 開催方法：オンライン研修

講師：近藤先生(群馬パース大学) + α

今後、近藤先生と講師選定・日程調整中を進めている。

・「シングルケースデザインについて 初学者編・導入編」

日時：令和7年10月9日、令和7年10月16日

開催方法：オンライン研修

講師：丁子雄希先生(新潟リハビリテーション大学)

初学者編・導入編の2コマでの開催を予定しています。

2) 令和7年度 新人症例発表会

日時：令和7年7月20日

会場：群馬医療福祉大学(対面開催)

統括：須田ブロック長(館林厚生病院)、金高OTR(療育センターきぼう)

各ブロック担当：北中毛→前橋日赤病院(矢吹OTR)

西毛→群馬整肢療護園(吉田ブロック長)

東毛→館林厚生病院(須田ブロック長、糸井OTR)

発表者：46名(査読希望者1名)

上記内容で研修会を開催予定。

3) その他

①新生涯教育制度について

生涯教育制度推進担当者：今井

機材管理責任者：勝野理事

登録管理責任者：戸部SG長

②令和7年度の名簿について

各ブロック長からの情報を粕川研修企画G長がまとめ、事務局へ提出する。

【審議事項】 なし

3. 広報部 [担当:都丸 部長 土岐]

【報告事項】

1) 公益事業グループ(グループ長:中澤)

今年度の広報活動についての公益事業グループ会議を開催予定。今年度も例年同様に高校生を対象とした職業案内をWEBにて開催を検討。その他広報活動についても部会にて検討予定。

2) ニュース編集グループ(グループ長:大脇)

①4月号の発行が終了し、次回7月号の発行準備中。掲載記事等がある場合には、6月25日までにデータの送付をお願いいたします。

②記事の掲載依頼等ありましたら下記アドレスをお願いいたします。

送付先：介護老人保健施設うららく ニュース編集G 長 大脇 daxiezongya@gmail.com

3) 広報企画グループ(グループ長:金子)

公益事業Gと合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

【審議事項】 なし

4. 学術部 [担当:李・吉岡 部長:近藤]

【報告事項】

1) 学術研究グループ(佐藤グループ長)

①群馬県作業療法学会の一般演題に関する会議を、学会実行委員と実施した。

2) 学会支援グループ(秋山グループ長)

①第27回群馬県作業療法学会のホームページ更新作業を行った。

②学術研究グループとの相談を経て、運営マニュアルの一般演題に関する内容について一部修正を行った。

③学会財務担当者へ会計業務の説明会を行った。

3) 機関誌編集グループ(柳井グループ長)

①今年度の機関誌「ぐんま作業療法研究」投稿論文の募集方法について学術部内で協議した。

②機関誌「ぐんま作業療法研究」の投稿規定/執筆要領の改訂について学術部内にて確認作業を継続。

【審議事項】 なし

5. 運転と作業療法特設委員会 [担当:李]

【報告事項】 なし

【審議事項】 なし

6. 福祉用具委員会 [担当:石森]

【報告事項】

1) 福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和7年5月26日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は77件、相談件数は4件。生活行為工夫情報事業は3件であった。引き続き事業内容について周知していく。

2) 福祉用具関連の研修依頼への対応について

①令和7年8月20日群馬県介護支援専門員協会にて研修を行う予定。講師は美原記念病院 石森卓矢。

3) 令和6年度 福祉用具相談支援システム運用事業合同業務連絡会について

日本作業療法士協会生活環境支援室の会議が6月2日に開催される。石森卓矢、一場弘行が参加予定。

【審議事項】 なし

7. 養成校連絡協議会 [担当:高坂、小林、木村]

【報告事項】

1) 養成校連絡協議会

6月4日(水) 第1回養成校連絡協議会開催予定。

【審議事項】 なし

8. 地域局 [担当:柴田・今村・小此木・山浦]

【報告事項】

1) 北中毛ブロック支部

特になし

2) 東毛ブロック支部

館林市保健福祉事務所から講師要請あり。館林厚生病院の須田OTRに内諾頂いている。

3) 西毛ブロック支部

特になし

4) 全体

①5月19日に地域リハビリテーション情報交換会(広域リハ支援センター代表者会議)があり、石森理事が参加した。県の職員も参加されていた。

②5月20日に地域局会議を行った。

③市町村配置事業に関連して、広域支援センターとの関係性を構築していくために、広域支援センターでの活動状況等について情報収集していく(すでに関係性の持っているところから始めていく)。

【審議事項】

1) 地域包括ケアフェスティバルinたかさが令和7年11月22日に開催する通知があった。今年度、群馬県作業療法士会は担当団体となっており、担当団体としてイベント参加で準備をして良いか伺いたい。

審議結果: イベントに参加することで承認された。

9. 福利厚生部 [担当: 小此木, 部長 設楽]

【報告事項】

1) 部員について

部員を1名増員した。

2) 新人症例発表会表彰状作成

総会での予算案決定前に、新人症例優秀演題賞の表彰状作成を行う必要がある。財務部と協力して作成していく。

3) 新人症例発表会における県士会の紹介について

昨年度は新人症例発表会にて、県士会の紹介をPower-Pointのスライドショーを用いて行っている。今年度も同様に県士会の紹介を行っていければと考えている。スライドショーの各部の紹介について、見直しする場合は、5月31日までに担当理事に送付するようお願いしたい。

【審議事項】 なし

10. 訪問リハビリテーション学術大会in群馬

[担当: 小此木]

【報告事項】

事前参加登録約600名。

当日参加も例年多くある。引き続き広報等をお願いしたい。

当日運営スタッフがまだ不足している。協力できる方は小此木まで連絡する。

【審議事項】

1) 物品の貸与について

訪問リハビリテーション学術大会in群馬において、PCなど群馬県作業療法士会の備

品を会期中貸与して良いか審議したい。

審議結果: 備品破損の際の保険に入っていることを確認し、貸与することとする。

11. 地域作業療法推進部 [担当: 高坂、吉岡]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ(山口グループ長)

①4月3日付で「令和7年度 群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」の採択通知をいただいた。

②4月17日、5月15日 地域グループ会議を開催した。

③6月19日 日本作業療法士協会主催の第1回地域支援事業会議に参加する予定である。

④6月27日 前橋中央商店街にて「風街夕やけマルシェ」に参加する予定である。

⑤2名の新規入部があり、1名が産休より復帰する。

2) 認知症支援推進グループ(笹谷グループ長)

①3月21日付で「令和7年度 群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」に係る協議書の提出を行い、令和7年4月15日に県地域福祉課より事業の採択通知をいただいた。

②4月18日付で「令和6年度 群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」に係る報告資料の提出を行った。

③4月21日 第1回目認知症グループ会議を開催した。

④5月20日 第2回目認知症グループ会議を開催した。

⑤4月27日 「認知症の人と家族の会」のつどいに笹谷グループ長、野村が参加した

⑥2名の新規入部があり、4名が退部した。

3) 精神科領域推進グループ(米原グループ長)

①4月22日 グループ会議を実施し、今年度の事業計画について話し合いを行った。

②SNSにて、県内の精神科領域OTの活動報告を開始した。

③群馬医療福祉大学と共同で3月1日～31日の期間に県士会員精神科領域OT対象に、職能団体の入退会に関するアンケート調査を実施した。今後、結果を報告予定である。

4) 発達支援推進グループ(小田グループ長)

①4月22日 群馬県教育委員会特別支援教育課へ吉岡理事、小田G長で訪問した。特別支援教育課 課長池田氏、次長吉田氏、補佐(指導係長)菅野氏、指導主事高橋氏に挨拶を行った。菅野氏、高橋氏と群馬県特別支援学校機能強化(外部専門家派遣)事業についての意見交換等を行った。

②5月19日 第1回全体会議(事業計画について)、研修委員会(新年度の研修会について)を実施した。

③5月28日 第1回定期勉強会「外部専門家派遣事業報告会・事業説明会」を実施予定である。

④1名の新規入部があった。

【審議事項】

1) 群馬県作業療法士会発達支援グループのLINEについて 公式LINEバッジの獲得にあたって、事務局の住所を使用してよいか審議したい。

審議結果: 公式LINEバッジ獲得にあたって事務局の住所を使用することで承認された。

12. 事務局 [担当: 長谷川・石森]

【連絡事項】

1) 総会について

日時: 令和7年6月22日(日)午後

開始時間: 15:10～16:00

会場: 公益財団法人脳血管研究所 てんぼくホール

〒372-0048 群馬県伊勢崎市大手町1-1

2) 第26回群馬県作業療法学会特別講演の代替講演について

演者:平石武士様

開催時間:13:30~15:00

【報告事項】

1) 40周年記念式典について

日時:2026年7月11日or12日

特別講演講師 日本作業療法士協会会長

山本伸一 協会長

会場:現在最終確認中

2) 士会(会員)システムの新運用について

⇒協会員=士会員のシステムではありません。

現状のPCで行っていたシステムがweb化されました。

システム登録担当者:事務局 加藤、長谷川、石森

※今年度の名簿の形式については、士会システムを利用して作成する方向で検討。

今までの名簿とレイアウトなどに変更が加わる。

3) 認知症に係る県民向け講座教材開発・作成事業について
群馬県からのR6年度委託事業として実施した「認知症に係る県民向け講座教材開発・作成事業」について、成果物が群馬県のホームページに掲載された。

認知症サポーターステップアップ講座用教材について

<https://www.pref.gunma.jp/page/699706.html>

【審議事項】

1) 新システムの移行に伴うメール配信業務の変更について

現行:登録施設メール・個人登録メール宛てに配信

変更:士会システム登録してあるメールアドレス(個人)にすべて一括送信

開始時期:7月1日からを予定。

6月に県士会ニュース及び、配布物、メール配信にて県士会からのメール配信方法の変更について通知し周知を図る。

利点:会員個人に直接情報を届けることができる。

メールアドレス変更などの手続きを士会で行わないで済む

課題:ブロック支部・主任者、施設代表者における運用については、別途対応の検討を要する。

審議事項:メール配信について変更でよいか。

審議結果:メール配信について新システムを利用し、個人宛てで送付することで承認された。

13.財務部 [担当:高橋・小林]

【報告事項】

1) 決算・予算について

決算書・予算案を作成した。

2) 会計監査について

5月26日(月)会計監査実施予定。

【審議事項】 なし

14.第27回群馬県作業療法学会 [担当:木村]

【報告事項】

1) 一般演題募集を開始し、それに合わせてHPやSNSへの掲示を行った。

2) 実施企画として、基調講演、ワークショップ2件、一般演題、リハビリ機器展示、学生交流会、病院紹介、災害支援ポスター展示を計画。各企画の詳細は検討中。

3) ワークショップの講師についても内諾をもらったため、今後は依頼文の送付を順次行っていく予定。

【審議事項】 なし

次回理事会予定 未定



事務局の小窓

第5話

『デイサービスいこうな』

「夏草や兵どもが夢の跡」

初夏、松尾芭蕉が奥州平泉を訪れたときに詠まれた句です。過去の栄華を偲び、時の流れの無常さとその儚さが込められた名句として広く知られています。

日本でも海外でも夏は「思い出」とか「記憶」とか「追憶」とか過去に関連したテーマの映画や小説などの作品が数多くあります。

うだるような夏の暑さは、どこか人をノスタルジックな気持ちにします。夏は身の回りにある匂いが他の季節に比べて少し強い。匂いと記憶と感情は脳内で強力につながりを持つことを考えてみれば、夏の記憶が残りやすいのも当然と言えます。

夕立後のアスファルトの蒸れた匂い、手持ち花火の火薬の匂い、プールの塩素の匂い、スイカの匂い……

日常にありふれた匂いに紐付いた記憶は誰しものが持っていて、夏になるとそれを思い出し、過ぎ去りし日を懐かしむのかもしれません。

私の夏の思い出といえば、忘れもしない高校2年生、教室での出来事があります。

とても暑い日でした。よほど我慢ならなかったのでしょう。普段おとなしい女子生徒が、8×4(エイトフォー)とかいう制汗剤スプレーをガトリング砲のごとく男子に向かってぶっ放したのです。猛々しきこと、鬼神の如し。その日以降、クラスの男子達は、シーフリーズを体に浴びるように塗りたくり、彼女の逆鱗に触れないよう、細心の注意を払うこととなりました。

この日の出来事は、84事件(はちよんじけん)として私の記憶にしっかり刻み込まれることとなりました。私は、今でも、あのエイトフォーの匂いがするたびに、鬼神を思い出します。今も元気になっているといい……。

こうした思い出というのも様々ありますが、私たち作業療法士にとって共通しているものとして、実習での出来事が挙げられます。とても良い実習だったという思いでもあれば、思い返すと吐き気がするというようなものまで色々でありそうです。

実習中、利用者の前でB'zの「今夜月の見える丘に¹⁾」をアカペラで歌えといわれて、手拍子が始まったときのあの、背筋の凍る経験は今もって、私の心に暗い影を落としています。あれ以降、B'zをカラオケで歌うやつがいると、無条件にひっぱたきたくなってしまふ。

臨床実習の在り方というのはずいぶん議論されてきました。現在は、実習に関する考え方、指導の在り方が示されるようになり、この内容は「実習指導者研修」として学ぶことができるようになりました。また学生さんに指導を行う場合、本研修を受講する必要があります。この研修会は県士



会の養成校連絡協議会(養成校の先生方の集う会)が毎年企画運営してくれています。色々面倒な手続きが多く運営者泣かせですが、今年も開催される予定です。本当にありがたいことです。

指導者研修会のことをもう少し紹介します。特徴としては長時間でグループワーク多めで尻が痛くなる。去年は久しぶりの対面での開催でした。内容といえば、実習指導方法論や、クリニカルクラークシップに準ずる指導方法の具体的な紹介や、ハラスメントに関する講習など多岐にわたります。グループワークは、6-7人程度で一つのまとまりとなり、それぞれテーマが与えられて話し合いが行われます。

第1日目のオープニングでは自己紹介の後、「実習する上で、私は〇〇を大切にしています」とか、「まだ実習生は受け持ったことないけれど、自分が指導者になるときは〇〇を大事にしていきたいです」みたいな明るくポジティブで良いスタートで始まりました。

しかし、午後になって空気は一変しました。テーマは「ハラスメント」。

実習でハラスメントを受けた、または見たという事例の紹介とそれに対してどのような対応があったか、という内容での意見交換をしたときです。午前中のポジティブな空気はどこへやら、それぞれの口から語られる内容は、もう何というか「呪詛」めいたもので、それらはとても痛々しく、気の毒に思う一方で、みんなも辛かったんだと謎の一体感を感じました。

あのときの、あの実習は一体何だったんだ」という思いを、今日の今日までずっと心の奥底にしまい込んで蓋をしてくたのしょう。

触れたくない自分の過去と向き合うというのは、とてもしんどい過程ですが、このような意見交換や対話を通じて、少しでも消化できることがあったのであれば、とても有意義な場だったのではないかと思います。

怨念のような体験を吐き出した後、つきものがとれたような表情をした幾人かの受講者を見て、オンラインでは得られない、対面開催の良さというのは確かにあるのかもしれないと思いました。

一方、バックヤード(講師控え室)では、その日の講師をしていた私を含め4人のおつきさんがいました。そのうちの1人は、県士会副会長の柴田さんで、実際に合って話すのは半年ぶりくらいでした。彼とは、もう10年ほどの付き合いで先輩からの紹介で知り合いました。

実は、初めて彼に会った時、私は最大級に警戒しました。。
彼の履いていた革靴のつま先が剣のように鋭利に尖っていたからです。

ブッチャー²⁾ かよ。やべえな。こいつ。

元々内向的傾向が強い私は、人と打ち解けることがなかなか難しい。まして、つま先が尖った靴を履いている人間とは、一生関わりたくないと思うタイプです。それが、飲み会の終わりには、固い握手を交わしていたのだから信じがたいことです。

後々知ることになりますが、彼の社交術は天下一品です。懐に入る角度と速度には舌を卷きます。世が世だったら、きっと良い武将になっただろう。信長も重用したに違いない。自ら新天地を切り開き人脈を作り上げる事が出来る人は、いつの時代だって貴重だし希少です。

そうだ。このような稀有な人物は公的に保護しなくては。文化庁に無形文化遺産の登録申請³⁾ をしておこう。

本人の同意？

LINEで「登録申請しといた〜」って送っておけばいいだろう。知らんけど。

そうしたわけで、彼との会話の時間というのも私はとても大切にしています。

あの日、実習指導者講習会のバックヤードでは情報交換とか、近況報告とかの枠を越えて、互いの将来や抱える不安とか、同じ時代をともにする者同士、胸襟を開いて語り合うことができたのは大変意義深いものでした。

え？

具体的に何話したかって？

柴「いやぁ先輩ね。脱毛。良いっすよ。」

長「へーどこ通ってんの。具合どう？」

柴「いや、今のとこいいっすね。だいぶいい。たぶん機械が
いいんすよ」

長「脱毛ってさ、結局のところ冷却だよな。如何に冷やせる
かみたいなのが勝負だよな」

柴「ほんと、そうっすね。まじでそう。」

長「冷却ってさ…実は…」・・・

うん。撤回。

この会話に意義も意味も深みもないな。聞かせるほどでもなかったですね。ただ、私と彼は同世代でミドルエイジクライシス真っ只中。中年の危機というやつで、色々と人生に迷いが生じてしまう世代です⁴⁾。

私はわけのわからない文章を書くことになるし、彼は彼で、無駄にすべすべの肌を手に入れようとしているし、お互い、人生を迷走中です。というか県士会の理事の人たちは等しくみんな迷走している（ように私には見える）。

そしてこのミドルエイジクライシスに対応するためには、新しい人生の目標とかチャレンジが必要らしい。

新しいチャレンジとか目標とか言われても…どうしよう。

「いまさらだけど…海賊王に俺はなる」とか宣言したところで、何かうまくいくのだろうか？

多分私と、彼が感じている漠然とした不安というのがあ

るとしたら、それは「このまま年を取って、いずれ、今のコミュニティからはずれて、多分孤独になっていくだろう」未来に対してだろうと思います。

ちょっと想像してみてください。

私のような内気な人間が、齢80を超えてデイサービスに行ったとしよう。きっと、私は誰かと打ち明けることも難しく、一人でポツンとデイルームで本でも読んでいるに決まっている。やることがなさ過ぎて、たいして旨くもないほうじ茶を2リットルくらい飲む羽目になり、まわりから「あいつ、さっきからお茶しか飲んでなくね」と気味悪がられるかと思うと、心底気が重い。

だから、私は彼に告げたのです。

「お互いさ、体よぼよぼになったら、一緒にデイサービスいこうな。」

うだる様に暑かったあの日の講習会で、受講生のみんなが真面目に尻を痛くしながら一生懸命受講している裏側で、私と彼は、しょうもない将来の約束を取り交わしたのでした。

冷房でキンキンに冷えたあの部屋で過ごした時間はあまりにもくだらなすぎたけれど、私にとってはとても思い出深い日となりました。

晩年、自分の気に入った思い出を抱いて生きてけたらいい。

未来に持っていく思い出を好きなように選べたら、どんなに救われるだろう。そんなこと、出来るはずがないことは、とつくにわかりきっていることだけれど。

次回、第6話「台風がもたらした何か」をお届けします。

このエッセイも残すところあと2つとなります。もう少しお付き合いください。

コラムの感想をお待ちしております。⇒



参考資料

1)「今夜月の見える丘に」2000 B'z

ドラマ「ビューティフルライフ」の主題歌でミリオンセラーを達成

2)アブドーラ ザ ブッチャー：1980年代のプロレス界を代表する悪役レスラー。彼のリングシューズは特殊で、つま先が鋭く
とがっていて凶器シューズといわれていた。反則技（毒針エルボー、五寸釘とか）がすさまじく、テレビの前のファンを戦慄させた。私が敬愛するレスラーの一人。

書籍：ブッチャー幸福な流血2003

3)文化庁ホームページ：無形文化財

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/mukei/>

4)ミドルエイジクライシス：中年の危機

『47歳人生のステータス』ペンステイラー主演2017

本作は中年の危機（ミドルエイジ・クライシス）を繊細かつユーモアに描いている。

文責 事務局長 長谷川明

事務局・財務部からのお知らせ

【会員登録情報確認のお願い】

日本作業療法士協会 HP の会員ポータルサイトにて勤務施設や自宅住所、メールアドレス、また勤務施設情報が最新のものになっているか、会員ポータルサイトにログインして確認をお願いします。

群馬県作業療法士会では、日本作業療法士協会の会員情報をもとに会員管理を行っていく予定です。

日本作業療法士会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/>

【県士会からのメール配信について】

2025年8月から県士会からのメール配信について、日本作業療法士協会の会員ポータルサイトに登録してあるメールアドレスへ個別に配信をいたします。

「施設代表者宛て」及び「自宅会員宛」のメール配信は2025年7月末をもって終了いたします。

メール配信をご希望の方は、日本作業療法士協会の会員ポータルサイトからメールアドレスをご登録ください。

メール配信の停止を希望する方は、県士会HPのお問い合わせから「メール配信の停止を希望される方」のフォームよりご入力ください。

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した…などなど、皆様からの投稿を
募集しております。

どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。
お待ちしております!!

ニュース原稿の送付先

daxiezongya@gmail.com

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

記事の依頼にご協力して頂いた先生方につきましては
はご多忙の所ありがとうございました。

今回は諸事情により施設紹介がないこと大変申し訳
ございません。

ニュース編集を任せていただくようになってから約
1年が経ちました。皆様の目に留まる記事になっていま
すでしょうか？今後もより一層楽しめるようなニュース
を届けられるよう努めていきますのでご指導ご鞭撻のほ
どよろしくお願いいたします。

〇

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 大脇 宗雅 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、白倉 研吾 印刷 || 星野印刷株式会社